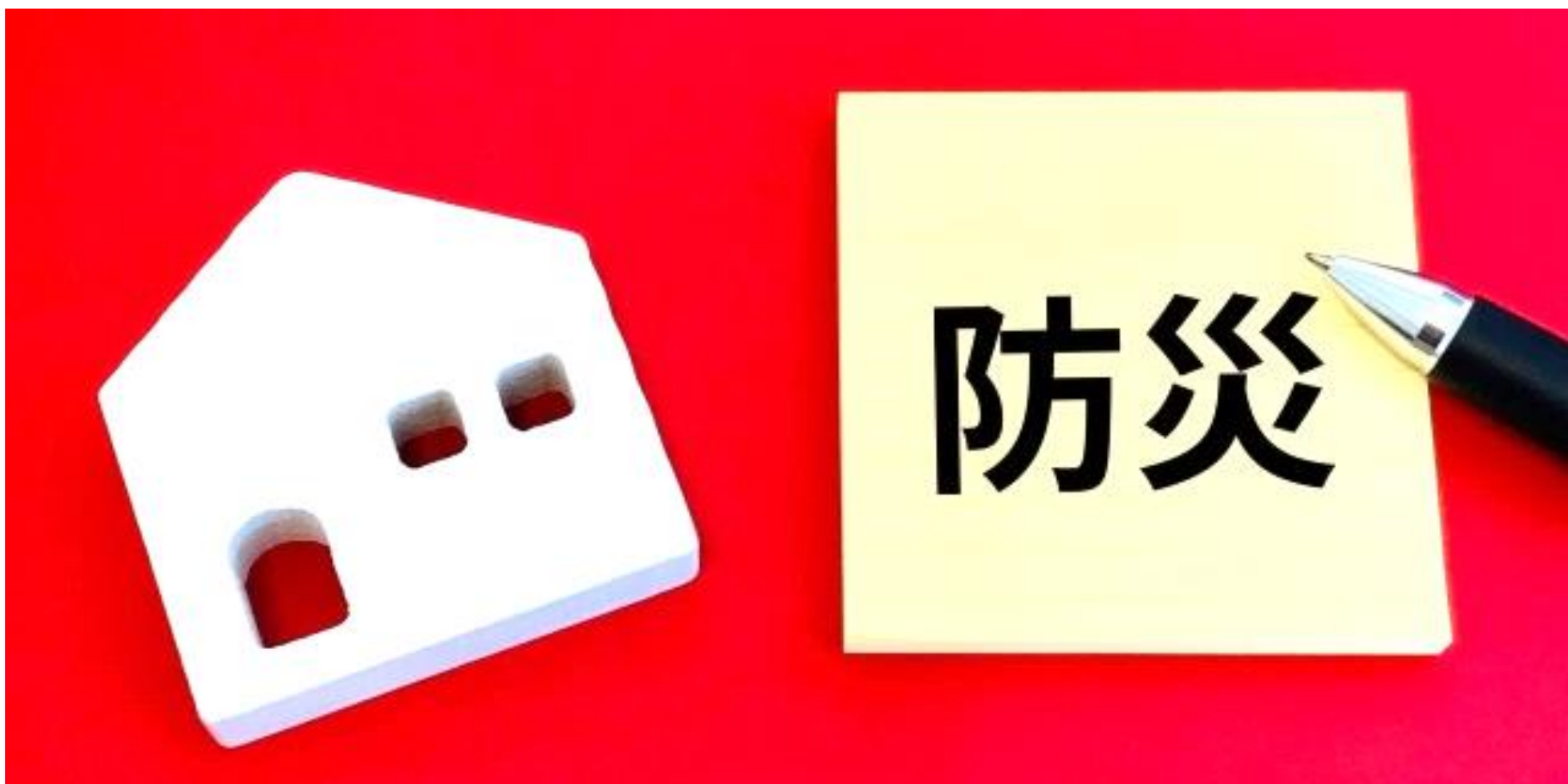




令和6年度における 国分寺市の主な取組



国分寺市



安全・安心で強^{じん}靱なまち

新庁舎開庁後の災害に対応する地域防災計画等の見直し

新庁舎での業務開始に合わせて、本市の防災に関する計画を見直します。

【参考】立川断層帯地震が発生した場合の
国分寺市の被害想定(冬・夕方・風速8m/s)

見直す計画

- ✓ 国分寺市地域防災計画
- ✓ 事業継続計画(BCP)
- ✓ 震災時の職員行動マニュアル

見直しの方向性

新庁舎移転のメリットを生かす

新庁舎での業務体制を前提とした災対本部活動を見直します。

新たな被害想定を分析

新たな被害想定における避難者数等を分析し、自助・共助・公助それぞれの備え、応急対応を整理します。

被災体験・教訓の活用

避難所運営への多様な視点を取り込む重要性など、大規模災害の被災自治体の教訓を取り入れます。

国・都の計画等との整合

各計画・指針・ガイドライン等との整合を図ります。

項目	被害等
最大震度	6強
全壊建物数	869棟
火災焼失棟数	2,702棟
死者数	104人
負傷者数	1,420人
避難所避難者数	17,825人
帰宅困難者数	10,696人
停電率	13.6%
通信不通率	8.6%
断水率	23.1%
下水道管きよ被災率	3.6%
ガス供給停止率	60.7%

「首都直下地震等による東京の被害想定」より抜粋

事業名称
予算額

地域防災計画等見直し事業 10,382千円

【問合せ】総務部 防災安全課長 ☎042-325-0111(内線372)

自助力の強化に向けた制度を継続

令和6年能登半島地震を鑑み、令和5年度に開始した制度を継続します。

①家庭用防災用品の購入費用を一部補助

災害時に在宅避難を選択できるよう、家庭での備蓄を促進

【補助対象品目】右記13品目

【補助率】2分の1

【上限額】1世帯5,000円

【令和5年度申請実績】令和6年1月1日時点、2月16日まで延長
申請受付数:5,816世帯

②木造住宅耐震診断士派遣・耐震改修等助成

震災から市民の生命と財産を守り、災害に強いまちの実現を目指し、令和5年10月より対象を拡充

【拡充対象】昭和56年6月～平成12年5月に在来軸組工法で建築された平屋建て又は2階建ての木造住宅(除却等は対象外)



参考:令和5年度実施パンフレット(抜粋)

令和5年度 申請の多い防災用品

簡易トイレ等・消火器・モバイルバッテリー等・懐中電灯等・コンロ等

事業名称
予算額

①家庭用防災用品購入費補助事業 19,050千円

②木造住宅耐震診断士派遣事業 8,580千円 耐震改修等助成金交付事業 35,371千円

【問合せ】①総務部 防災安全課長 ②まちづくり部 まちづくり推進課長 ☎042-325-0111(内線①372 ②478)



市制施行60周年と新庁舎への移転を契機とした
更なるにぎわいの創出

防災拠点として新庁舎等を整備

耐震性に優れた新庁舎は、防災拠点としての機能を有しています。その建設費の一部には、クラウドファンディングを活用します。

■防災訓練の拠点

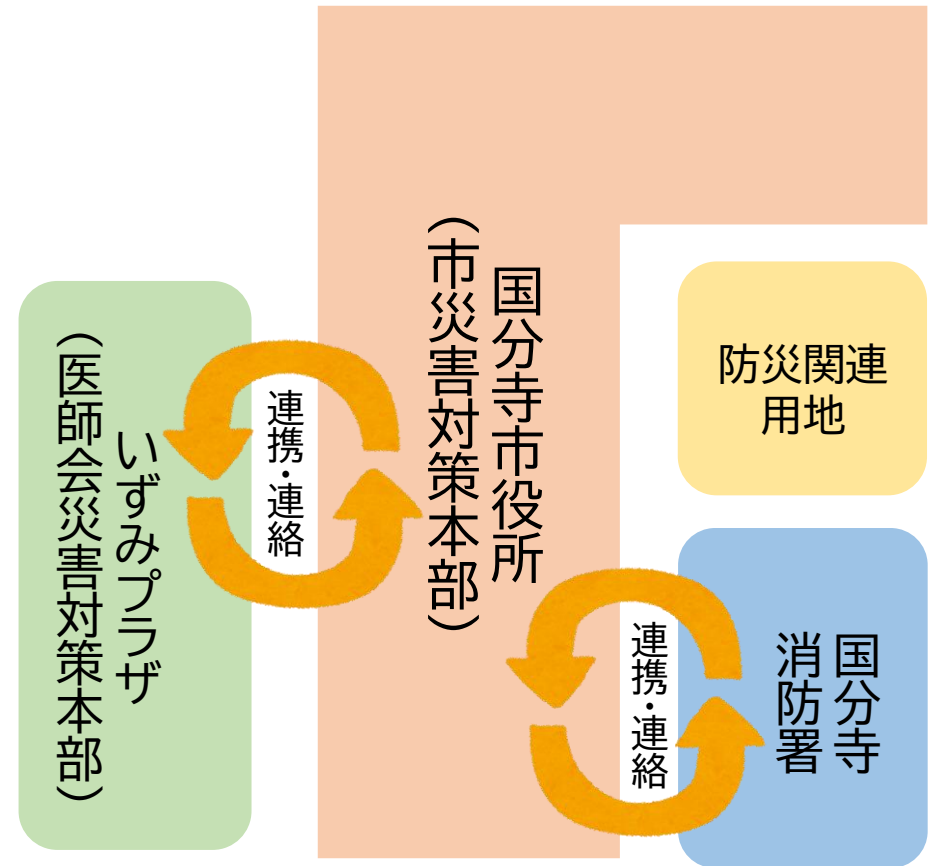
- ・新庁舎の隣接地に防災関連用地を整備

■「災害医療救護計画」「災害時保健活動計画」の策定

- ・令和6年度から2か年で策定
- ・市民の安全・安心を、より確実に確保できるよう、国分寺市医師会などの関係機関と協議・連携
- ・発災時の医療資源の確保、在宅避難も含めた市民の避難生活を支える災害時保健活動等の充実

■いずみプラザの機能強化

- ・平時より、医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し保健事業の更なる充実を推進
- ・災害時にも医療・保健活動の拠点のひとつとして機能させ、市民の安全・安心を確保



事業名称
予算額

- ①防災関連用地整備事業 140,366千円
- ②災害医療救護計画等策定事業 4,193千円

【問合せ】 ①総務部 防災安全課長 ☎042-325-0111(内線372) ②健康部 健康推進課長 ☎042-321-1801

新庁舎への移転を契機として(1/2)

新庁舎ではデジタル技術を最大限活用するため、市民が快適にサービスを利用できます。

①窓口手続のワンストップ化

- ・転入・転出・婚姻・出生・死亡等のライフイベントに関連する複数の手続を一つの窓口で完結

②申請書等を書かない窓口化

- ・転出証明書の情報を読み取り、転入届を作成
- ・マイナンバーカード等から氏名・住所等を読み取り、申請書を入力

③AI技術を活用した窓口の多言語化対応

- ・多様なコミュニケーションに対応するための、音声の外国語への翻訳や文字化

④チャットボットでの案内

- ・ワンストップ窓口に関する問合せに対応できるよう整備



事業名称
予算額

- ①新庁舎移転に伴う窓口ワンストップサービス整備事業 5,526千円
- ②新庁舎移転に伴う申請支援サービス整備事業 45,773千円
- ③多言語翻訳システム導入・運用事業 138千円
- ④新庁舎移転に伴う手続案内サービス整備事業 7,475千円

【問合せ】①～④政策部 デジタル行政推進室長 ☎042-325-0111(内線349)

新庁舎への移転を契機として(2/2)

⑤議会映像配信の充実

- ・テロップ表示などの新機能の活用による映像配信の充実

⑥市民等も利用できるカーシェアリングを導入

- ・カーシェアリングを5台
- ・カーシェア車両の内1台を電気自動車とし、災害発生時に電源として活用

⑦本多図書館駅前分館を新庁舎に移転

- ・市内中央部の図書サービスの拠点とし、予約図書の受渡し・返却等に対応

⑧情報公開コーナーの電子化

- ・情報公開コーナーの資料を電子化し、検索性を向上
- ・電子化した資料はインターネットで閲覧可能



子どもの本の本棚(イメージ)

事業名称
予算額

⑤議会映像配信事業 1,716千円 ⑥新庁舎移転に伴うカーシェアリング導入事業 255千円
⑦(仮)本多図書館分館開館事業 811千円 ⑧情報提供システム導入事業 289千円

【問合せ】⑤議会事務局次長 ⑥総務部 契約管財課長 ☎042-325-0111(内線⑤580 ⑥420)
⑦教育部 図書館課長 ☎042-324-2022 ⑧政策部 情報管理課 ☎042-325-0111(内線419)

市制施行60周年記念事業

市制施行60周年を記念し、様々な取組を展開します。

- ①60周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ・マンホール蓋デザインの市民投票(2月13日～3月11日)
- ②新庁舎落成式典等記念事業
11月2日(土) 新庁舎落成式典(新庁舎1階フロア)・内覧会
11月3日(祝) 市表彰式, 60周年記念式典(新庁舎1階フロア)
観光大使記念ライブ(国分寺まつりステージ)
- ③未来への手紙事業(4月～7月募集)
- ④機運醸成物品制作事業(6月～)
市内駅前装飾街路灯へのフラッグ掲出, 公共施設等へののぼり旗・横断幕の設置, PR物品の制作
- ⑤市勢要覧の作成
「国分寺の現在から未来へ」をテーマとし作成
- ⑥市の魅力発信デザインマンホールの設置(8月頃)
60周年記念ロゴ, 市の魅力発信デザイン(こくベジ・鉄道のまち等)
計5箇所設置予定



事業名称
予算額

- ②新庁舎落成式典等記念事業 13,430千円 ③未来への手紙事業 605千円
④機運醸成物品制作事業 4,174千円 ⑤市勢要覧作成事業 5,064千円
⑥市の魅力発信デザインマンホールPR事業 264千円

【問合せ】①～⑥政策部 市政戦略室長 ☎042-325-0111(内線462)

国分寺まつり～市制施行60周年記念式典同時開催～



まつりばやし



開会式



宝船(農業祭)

「国分寺まつり」の運営費用を補助し、同時開催の市制施行60周年記念式典、落成式典と合わせて、イベントを盛り上げます。

市内最大のまつりである「国分寺まつり」では、市民まつり・商工まつり・農業祭を同時に開催します。

「ひろげよう市民の輪」をテーマに、市民がふれあい、市の文化・歴史・福祉・地域産業を知り、互いに手を結び助け合うまつりです。

当日は多くの出店でにぎわい、姉妹都市の新潟県佐渡市・友好都市の長野県飯山市の物産展、ステージでのダンスやパレード等のイベントを予定しています。

事業名称
予算額

国分寺まつりに要する経費 12,072千円

【問合せ】 市民生活部 文化振興課長 ☎042-329-1205

市制施行60周年記念「子ども体験塾」宇宙&鉄道

5市共同事業「子ども体験塾」は、中央線沿線の5市(武蔵野・三鷹・小金井・国分寺・国立)が連携し、子どもたちへの大規模で高度な感動体験の提供を目的としています。

令和6年度は本市が委員長市として、本市の資源である「日本の宇宙開発発祥の地」や「新幹線技術開発の地」を最大限に活用したイベントを行います。

■(仮称)子ども宇宙フェスティバル

【日程】8月23日(金)~25日(日) (予定)

【場所】いずみホール

【内容】講演会及びワークショップ等

■(仮称)ココブンジプラザ鉄道模型広場

【日程】8月23日(金)~25日(日) (予定)

【場所】cocobunjiプラザ

【内容】鉄道模型のジオラマ設置等



平成27年子ども体験塾 宇宙ワークショップの様子



鉄道模型ジオラマイメージ

事業名称
予算額

多摩・島しょ広域連携活動事業 12,000千円

【問合せ】市民生活部 文化振興課長 ☎042-329-1205

空き家・空き店舗を活用したまちの活性化

①こくぶんじカレッジ

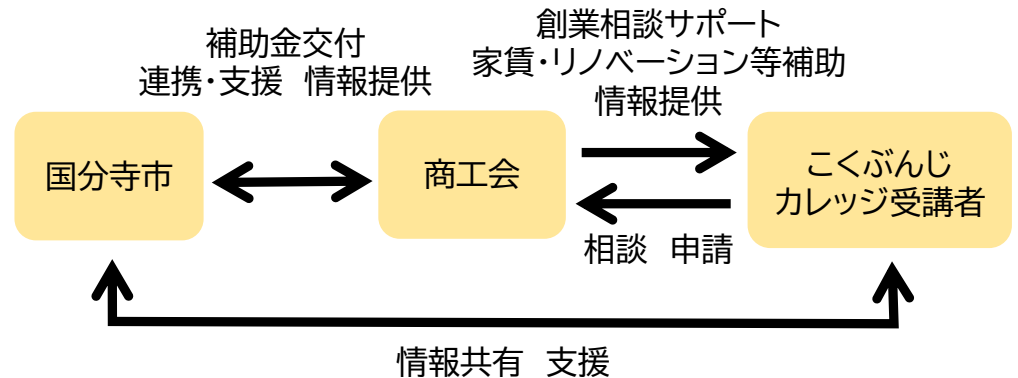
「こくぶんじカレッジ」は、「まちが自分ごとになる」をテーマに、国分寺のまちを楽しむ活動を始めたい人、地域とつながる事業やお店の新しい形を考えたい人、それらの活動をサポートしてまちをもっと元気にしたい人が、学び活動する連続講座です。



講座風景

②空き家・空き店舗を活用したまちとつながる創業支援

まちとつながる創業支援を目的とし、こくぶんじカレッジ受講者を対象に、空き家・空き店舗を活用した創業に対して支援します。空き屋・空き店舗情報とマッチングを行いながら、創業支援サポートや家賃補助などを行うために必要な補助金を国分寺市商工会に交付します。



事業名称
予算額

- ①まちづくり支援機関運営業務事務事業(こくぶんじカレッジ) 4,622千円
- ②空き家・空き店舗を活用したまちとつながる創業支援事業 2,600千円

【問合せ】①まちづくり部 まちづくり推進課長 ②市民生活部 経済課長 ☎042-325-0111(内線①478 ②392)



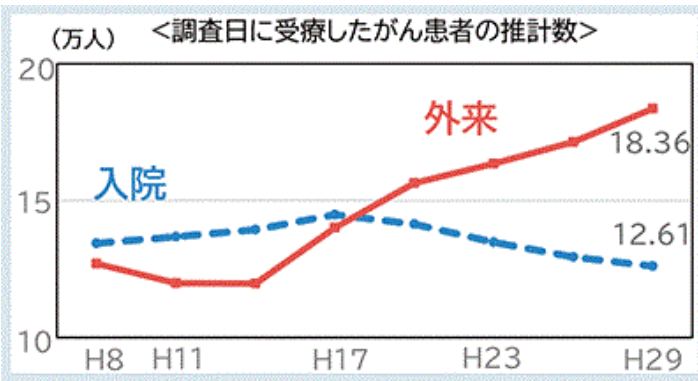
思いやりが行き届くまち

がん患者のウィッグなど補整具購入等費用を補助

がん治療によって、外見(アピアランス)の変化に悩みを抱える方がいます。

治療を受けながら自分らしい社会生活を支援するため、アピアランスケア(*)用品(ウィッグなどの医療用補整具)の購入やレンタル費用の一部助成制度を創設します。

(*) 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア



外来で治療を受けるがん患者の数は増加。
治療と社会生活の両立に向けた支援が求められています。

図表出典: 令和4年版「厚生労働白書」



事業名称
予算額

がん患者へのアピアランスケア支援事業 608千円

【問合せ】健康部 健康推進課長 ☎042-321-1801

障害のある方も暮らしやすいまちを目指して

①在宅レスパイト・就労等支援(10月開始)

医療的ケアがある在宅の重症心身障害児(者)・医療的ケア児の家族等の休養・就労等を支援するため、自宅に訪問看護ステーションの看護師を派遣し、医療的ケア等を一定時間代替

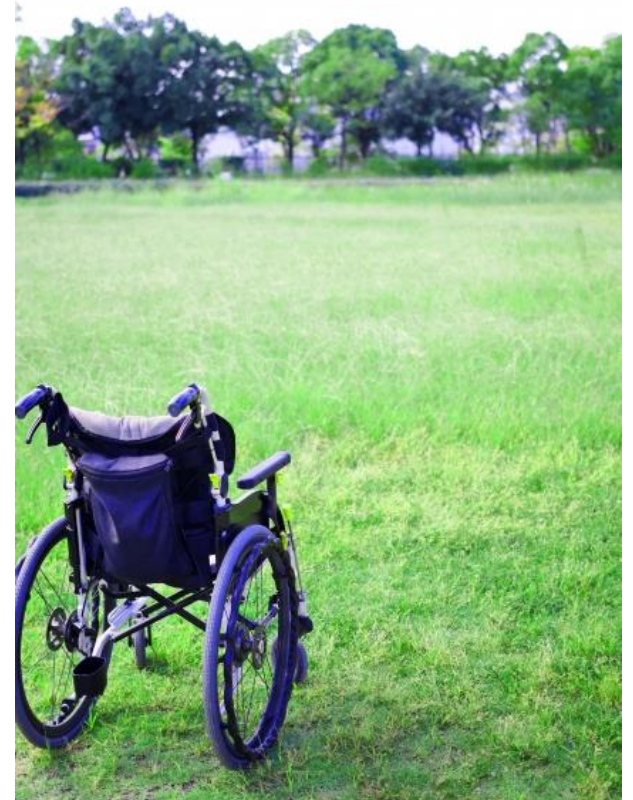
【派遣時間】1回あたり2～4時間(年間144時間まで)
※所得に応じた自己負担あり

②心身障害者の外出に係る経済的負担の軽減

通院・社会参加の促進を図るため、交通費を助成
(介護保険サービス・障害福祉サービス等への通所を除く)

【対象】(1)身体障害者手帳1・2級
(2)愛の手帳1・2度
(3)身体障害者手帳の内部障害3級 ※所得制限あり
(4)精神障害者保健福祉手帳1級【拡大】

【上限額(1か月当たり)】通院等 5,250円
地域活動参加等 650円



事業名称
予算額

①在宅レスパイト・就労等支援事業 3,033千円
②心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成事業 1,170千円

【問合せ】①②福祉部 障害福祉課長 ☎042-325-0111(内線341)

集団が苦手な子どもへの市民と協働した支援

NPOと協働し、集団が苦手な子どもを支援します。

■子どもの居場所づくり

【実施期間】6月～3月

【開所日時】隔週土曜日

【場所】レンタルルーム「にわには」(東元町)

【内容】4～18歳未満で集団での活動を苦手とする子どもが、自由に安心して過ごせる居場所を提供

■ゆるいく講座

【実施期間】7月～11月

【開催日】月1回土曜日

【場所】市内公民館等

【内容】子どもの発達に対して不安を抱える保護者を対象に、保護者の困りごとなどをテーマにしたフリートークを実施



事業名称
予算額

集団が苦手な子どもたちと保護者や家族のための支援事業 602千円

【問合せ】子ども家庭部 子ども発達支援担当課長 ☎042-323-7912



平和への思いを共有し、
豊かな心を育むまち

次代への平和文化の振興と26市で連携した平和への取組

毎年実施しているピースメッセンジャー広島派遣・平和祈念式・平和祈念行事など各種事業を実施し、次代を担う子どもたち、また戦争経験のない戦後世代への平和文化の振興に、引き続き取り組みます。

また、平和への願いを新たに、市内に点在する平和の灯・嘉代子桜・被爆樹木二世のアオギリなど、平和の象徴を新庁舎へ移設します。

平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク市長会議(令和5年4月発足)で採択された平和宣言を踏まえ、市民社会での平和意識の醸成・平和文化の担い手の育成等に、26市が連携して取り組みます。



令和5年度ピースメッセンジャー



市長会議において採択された平和宣言▶



平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク

平和宣言

私たち平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワークは、平和首長会議の「持続可能な世界に向けた平和的変革のためのビジョン」の中で掲げている「平和文化の振興」に向けて東京都多摩地域共同で取り組むことを宣言します。

- 一、市民一人一人が平和を願い、日常生活の中で自分ができることを考え行動する「平和文化」を東京都多摩地域に根付かせ、市民社会における平和意識を醸成していきます。
- 一、戦禍や被爆の実相を共有・継承し、「平和文化」の担い手を育成していきます。
- 一、世界中に平和文化を根付かせ、世界恒久平和を実現するために、東京都多摩地域の自治体が連携して「平和文化の振興」に取り組み、その取り組みを国内外へ発信していきます。

八王子市長 石森 孝志	国分寺市長 井澤 邦夫
立川市長 酒井 大史	国立市長 永尾 理夫
武蔵野市長 小美津 空弘	福生市長 加藤 育男
三鷹市長 河村 孝	狛江市市長 松原 俊雄
青梅市長 大曾 利晴	東大和市市長 和地 仁美
府中市長 高野 律雄	清瀬市長 滝谷 桂司
昭島市長 白井 伸介	東久留米市長 雪田 竜馬
調布市長 長友 貴樹	武蔵山手市長 山崎 泰夫
町田市長 石阪 史一	多摩市長 阿部 裕行
小金井市長 白井 亨	稲城市市長 高橋 勝浩
小平市長 小林 洋子	羽村市長 橋本 弘山
日野市長 大坪 冬彦	あきる野市長 中嶋 博幸
東村山市市長 渡部 尚	西東京市長 池澤 隆史

2024年1月25日

事業名称
予算額

ピースメッセンジャー広島派遣事業 1,455千円

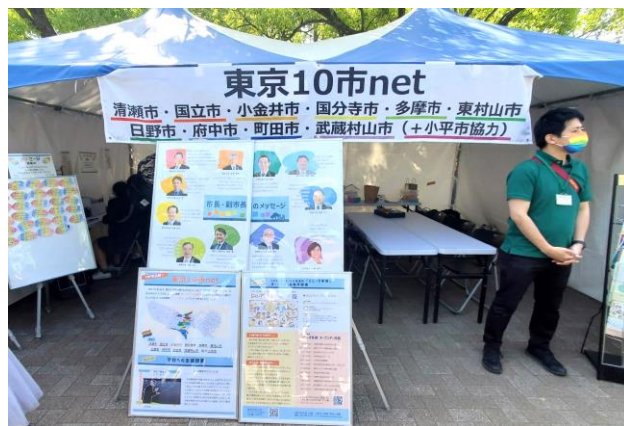
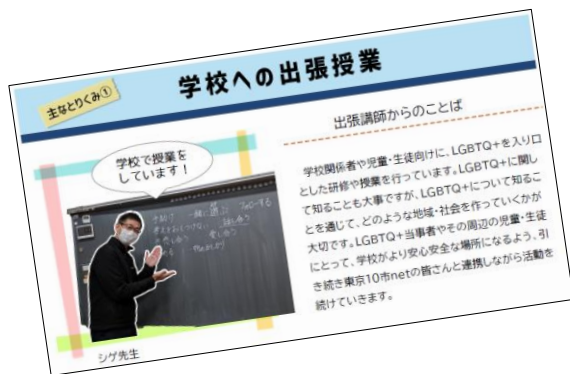
【問合せ】市民生活部 人権平和課長 ☎042-573-4378

若年層セクシュアル・マイノリティへの支援・理解

若年層のセクシュアル・マイノリティ当事者は、学校生活などで同じ当事者を見つけられず孤独感を抱えたり、ロールモデルが分からず悩みを抱えたりすることが多い現状があります。

本市を含め多摩地域11市がネットワークを結び、連携して同年代の当事者と安心して交流できる居場所(にじーず多摩)を定期的に提供します。

また、多様な性に関する児童・生徒向けの授業、教職員等への研修の実施や、11市ネットワークとして「東京レインボープライド」へ出展し、連携事業や各市の取組を当事者・支援者・市民等に広く周知します。



東京レインボープライド出展(令和5年4月)



居場所事業チラシ(令和5年度配布)

事業名称
予算額

若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業 5,000千円

【問合せ】 市民生活部 人権平和課長 ☎042-573-4378

こどもたちからの人権メッセージ発表会

すべての子どもが人として生きる権利を尊重され、必要な保護と援助が与えられるよう、国が平成6年に批准した児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)の理念に基づき、子どもが自由に自分の意見を表明できる場を生み出すことに焦点を当て、同年から毎年、小学生を対象に「こどもたちからの人権メッセージ発表会」を開催しています。

第31回となる令和6年度は、本市・東京法務局府中支局・多摩東人権擁護委員協議会が組織する「多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会」が、本市で発表会を開催します。

■発表会概要(予定)

【開催日】12月7日(土)

【場 所】いずみホール

【メッセージ発表者】

多摩東地区に属する各市(13市)の小学4~6年生の児童

【テーマ】家庭生活・学校生活等の中での体験を通じて考えている、
基本的人権を守る重要性・必要性

※開催内容等詳細は、今後、多摩東人権啓発活動地域ネットワークが決定します



事業名称
予算額

地域人権啓発活動活性化(こどもたちからの人権メッセージ)事業 1,560千円

【問合せ】市民生活部 人権平和課長 ☎042-573-4378



活気ある暮らしやすいまち

恋ヶ窪駅周辺エリアの地域活力の維持・向上

～恋する。ひとに, まちに, 恋ヶ窪に。～



■複合公共施設

基本設計を取りまとめ, 庁舎移転後は速やかに現庁舎等の解体工事に着手

■民間活用事業

民間事業者への意向調査を踏まえ, 事業スキーム(従来発注or官民一体発注)の構築, 用地の貸付条件などを整理し, 募集書類の作成・公表から民間事業者を募集・選定し契約締結に至るまでの一連の支援を行うアドバイザー業務を実施

○スケジュール(予定)

- ・令和6年度 複合公共施設の基本設計
※引続き, 市民意見を取り入れながら進めます
- ・令和6・7年度 アドバイザリー業務の実施, 民間活用事業者の選定
- ・令和6・7・8年度 現庁舎等の解体工事
- ・令和8年度以降 複合公共施設, 民間活用事業の建設工事・供用開始

事業名称
予算額

現庁舎用地利活用事業 143,271千円

国分寺駅南口広場の有効活用

国分寺駅南口の空間が、更なる活気とにぎわいを創出する広場へと生まれ変わり、暮らしやすさにつながる拠点となるよう整備します。

■街頭アンケートを実施

- ・市民・利用者の意見を広く取り入れた利用しやすい広場とするため、3月に実施

■バリアフリー化

- ・広場に点在する歩道と車道の段差解消や、視覚障害者の安全な歩行対策等について準備検討

■公共空間としての機能向上

- ・にぎわいの場を創出し、憩いの場として充実化を検討

■交通環境の改善

- ・歩行者動線と自動車動線の交錯、ロータリー部分と車道部分が不明瞭等の状況改善を目指して関連機関と協議



事業名称
予算額

国分寺駅南口再整備事業 13,148千円

西国分寺駅北口駅前エリアの整備

令和5年度は、駅前エリアの都市基盤の考え方や駅前街区の土地利用について検討しました。

令和6年度は、駅前エリアの測量調査を行い、駅前へのアクセス道路等の都市基盤整備と都市計画変更を具体的に検討します。

また、土地・建物の所有者との意見交換を継続し、駅前エリア整備の早期実現を目指します。

土地利用の考え方(案)

国3・4・6号線から駅前街区への**アクセス道路 (幅員12m)**を想定

アクセス道路から**沿道20mを用途地域見直しエリア**として検討

用途地域見直しエリアとして検討

駅前街区につながる **アクセス道路**の配置はイメージで、今後具体的に検討



事業名称
予算額

西国分寺駅北口駅前エリア整備事業 19,531千円

誰もが集える公園づくり

■黒鐘公園

インクルーシブな公園の整備を進め、令和7年度中の供用開始を目指します。令和6年度は市民懇談会等の意見を参考に、インクルーシブな遊具・バリアフリートイレ等の設計を進めます。

また、令和6年度に国分寺市土地開発公社が都から取得する用地を、令和7年度から三年をかけて買い戻す予定です(面積:約12,500㎡)。

■新町一丁目緑地

令和7年度以降の用地取得・設計・整備に向け、令和6年度は市民懇談会や都市計画審議会、都との協議等を踏まえ、一年をかけて都市計画を決定します。

■戸倉公園

既に都市計画公園として決定している区域の一部について、令和5年度に設計を行いました。令和6年度は、防災機能・ボール遊びのできるスペースを備えた公園の整備を進めます。



府中の森公園のインクルーシブな遊具

事業名称
予算額

黒鐘公園整備事業 23,809千円 戸倉公園整備事業 150,158千円

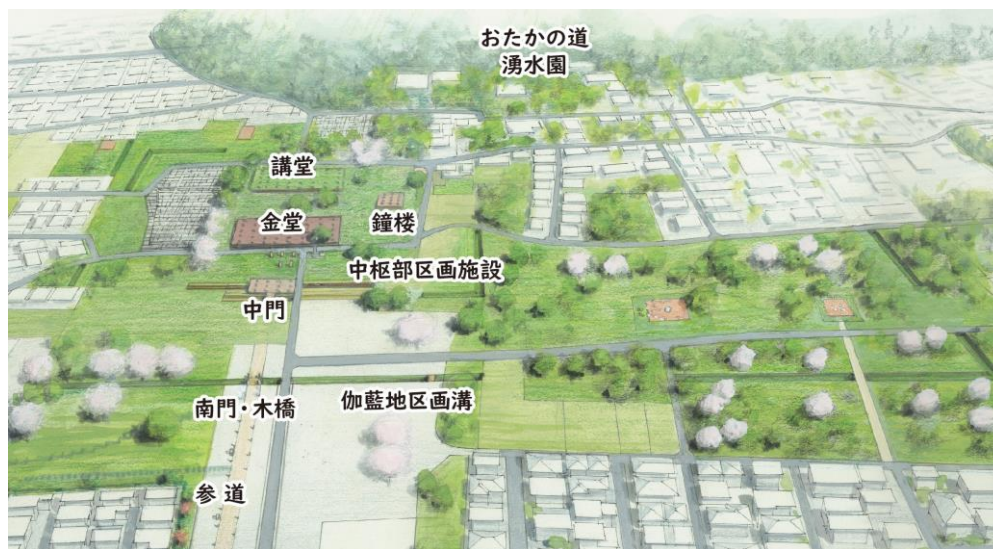
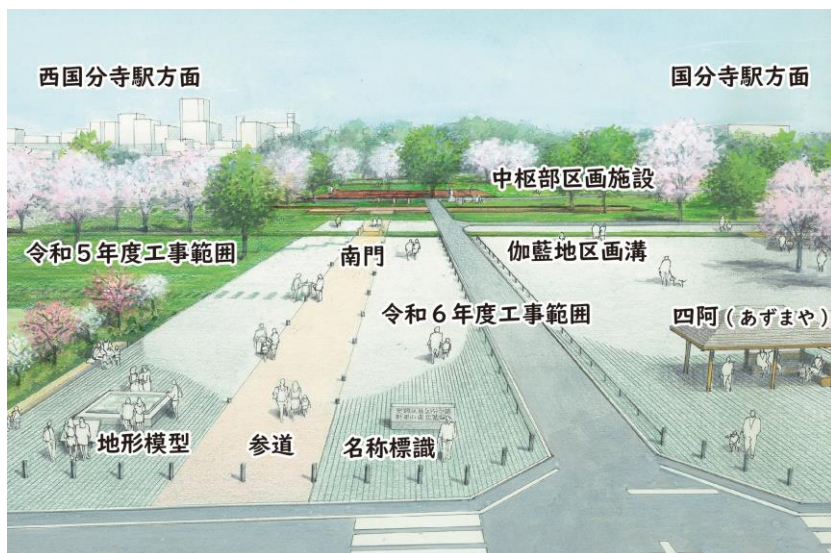
【問合せ】建設環境部 緑と公園課長 ☎042-325-0111(内線500)

史跡武蔵国分寺跡を市民の憩いの場となる公園へ

庁舎移転後は、新庁舎に訪れた市民が東山道武蔵路から崖線を下り、歴史公園や武蔵国分寺跡資料館に訪れる機会が多くなることが見込まれます。

令和6年度は、令和4年度から始まった僧寺南門地区の整備工事のうち、その中核となる南側のエントランス部分から伽藍中枢部に至る南門を含む、参道部分をメインとした整備工事を行います。

1300年前の武蔵国分寺に思いをよせて、四季折々の風景を楽しめる市民の憩いの場として整備します。



事業名称
予算額

史跡武蔵国分寺跡公園整備事業 291,322千円

【問合せ】教育部 ふるさと文化財課長 ☎042-300-0073



子育てにやさしいまち

多胎児を妊娠した方の妊婦健康診査費を追加補助



多胎児を妊娠した妊婦は、胎児1人を妊娠した妊婦より、頻回の妊婦健康診査受診が推奨されています。

公費負担される14回の妊婦健康診査以降に、妊婦健康診査を受診した場合、健康診査に要した費用の一部を助成し、多胎妊娠にかかる経済的負担を軽減します(最大5回まで)。



事業名称
予算額

多胎妊婦の妊婦健康診査支援事業 644千円

【問合せ】健康部 健康推進課長 ☎042-321-1801

保育環境の充実と子育て支援の拡大

①学童保育所の定員拡充

年々増加する保育ニーズへの対応や、公立学童保育所の狭あいを解消し、保育環境の充実を図ります。

- ・第三小学校・第十小学校の敷地内に、公立学童保育所が完成予定
- ・民設学童保育所を新たに2施設を整備予定
合計で90人の定員拡充(予定)
- ・学童保育所の整備を継続

②認証保育所を利用する第2子以降の保育料の負担軽減

令和5年10月から、認証保育所等を利用する第2子以降の児童を通わせる保護者の負担軽減のため、助成金の上限額及び対象施設を拡大しました。

令和6年4月からは、認証保育所に0～2歳児までの第2子以降の児童を通わせる保護者のうち国の幼児教育・保育の無償化給付の対象外である課税世帯の保護者への助成金の上限額をさらに拡大します。

〈国分寺市認証保育所等保護者助成金 予算総額〉

令和5年度 13,020千円 ➔ 令和6年度 55,104千円



学童保育所の整備事例(第三・第四光町学童保育所)

事業名称
予算額

- ①学童保育所整備事業 222,650千円
- ②認証保育所保育料負担軽減拡大事業 7,128千円

【問合せ】子ども家庭部 ①子ども若者計画課長 ②保育幼稚園課長 ☎042-325-0111(内線①382 ②463)

こども家庭センター・児童発達支援センターの設置に向けて

①こども家庭センター(令和7年4月, いずみプラザに設置)

児童福祉と母子保健分野が一体となって支援し, すべての妊産婦・子育て世帯・子どもに対する相談支援体制の, より一層の充実を図ります。

- ・母子保健事業を, 健康部健康推進課から子ども家庭部子育て相談室に移管し, 児童福祉と母子保健の組織を統合
- ・執務室の改修や相談窓口等の整備



②児童発達支援センター(11月1日開所予定)

「こどもの発達センターつくしんぼ」の施設改修工事を行い, 地域の障害児療育の中核機関となる「児童発達支援センター」へ移行します。

- 【新規事業】・保育所等訪問支援事業
- ・児童発達支援事業(週1日クラス)
- ・児童発達支援事業(週5日クラス)での給食の実施



こどもの発達センターつくしんぼ

事業名称
予算額

- ①こども家庭センター設置準備事業 3,355千円
- ②こどもの発達センターつくしんぼの児童発達支援センター移行事業 52,978千円

【問合せ】子ども家庭部 ①子育て相談室長 ☎042-572-8138 ②子ども発達支援担当課長 ☎042-323-7912

次世代教育系システムのリプレースを推進

学校等のICT環境の整備として、令和元年度には校務系・学習系システム環境を、令和2年度にはGIGAスクール構想環境をそれぞれ構築し、情報通信ネットワーク等の手段を活用するために必要な環境を整えることで、ICTの活用によりすべての児童・生徒の学びを保証できる環境の実現を図りました。

令和6年度は学校等のICT環境を構成している現行の学習系・校務系システム、GIGAスクール構想環境及び学校・公共図書館システムの運用保守契約の満了に伴い、令和8年度から新たに稼働を予定する次世代教育系システムへのリプレースに向けた準備を進めます。

次世代教育系システムでは、学校教職員の負担軽減や教育活動の質を高める観点から、クラウドサービスの活用・ネットワーク構成の見直しなどにより、学校等教育ICT環境を整備します。



事業名称
予算額

学校ICT環境整備事業(次世代システムへのリプレース) 5,728,137千円
(令和6~12年度 債務負担行為)

民間施設を利用した学校水泳指導を2校で実施

令和5年度の市立第三小学校に続き、新たに市立第六小学校で実施します。児童のより良い学習環境を確保し、教員のプールの維持管理等の負担を軽減します。今後も、学校プールの校外化の更なる推進に向けた検討を進めます。



事業名称
予算額

学校水泳指導の委託事業 22,423千円

【問合せ】教育部 教育総務課長 ☎042-574-4040(内線451)



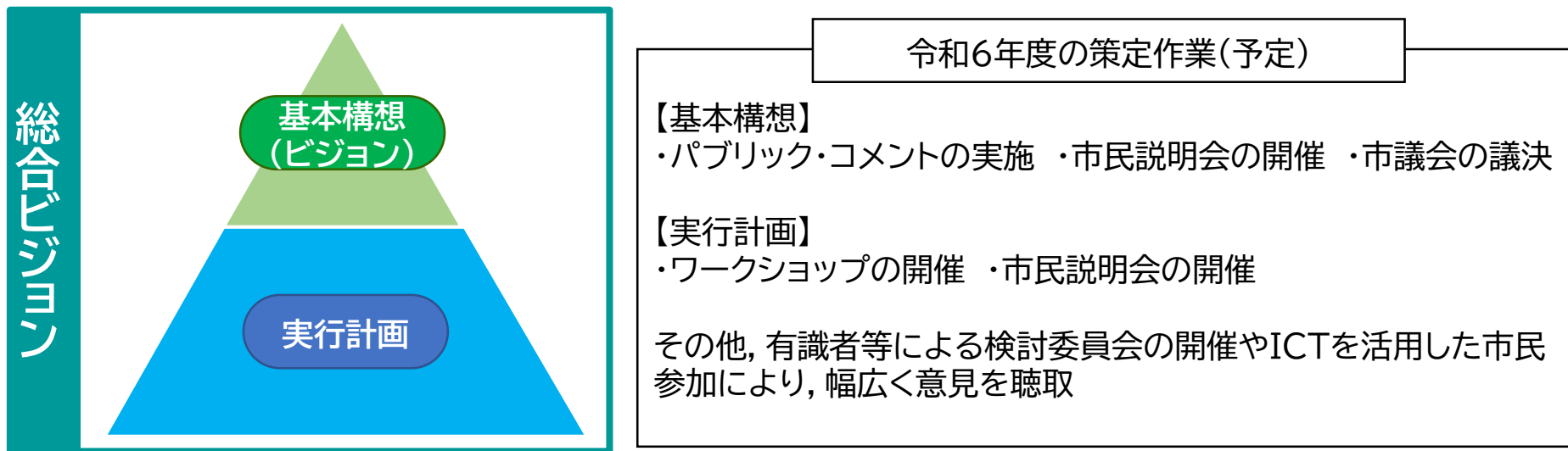
未来につながる持続可能なまち

第2次国分寺市総合ビジョンを策定

「国分寺市総合ビジョン」は、まちづくりの最上位計画です。まちの将来像や政策・行政運営の方向性を示した「基本構想」と、「基本構想」を実現するための具体的な取組を掲げた「実行計画」の2層構成になっています。基本構想は8年間、実行計画は4年間を一つの計画期間としています。

現行の「国分寺市総合ビジョン」が令和6年度に期間満了となるため、令和5年度から「第2次国分寺市総合ビジョン」の策定を進めています。

令和6年度は、令和5年度から引き続き「基本構想」の策定を進め、加えてワークショップや市民アンケート等の市民参加により、「実行計画」を策定します。



事業名称
予算額

第2次国分寺市総合ビジョン策定事業 17,252千円
(参考 令和6・7年度事業費総額 20,219千円)

【問合せ】 政策部 政策経営課長 ☎ 042-325-0111(内線371)

ゼロカーボンシティの実現とGXの推進に向けて

ゼロカーボンシティの実現に向けて、地域の課題解決と更なる地域の魅力創出、地域の一層の発展につなげるGXの視点を取り入れ、温室効果ガス排出削減の取組を加速していきます。

①脱炭素社会の形成推進

再生可能エネルギーの導入を促進し、率先した取組を推進します。

(1)市内の住宅に設備機器を導入した方へ補助金を交付

- ・蓄電池【新規】・家庭用燃料電池【継続】
それぞれ60千円

- ・太陽光発電機器
1kWにつき30千円(上限150千円)【継続】

(2)新庁舎への再生可能エネルギーの導入

②ハウス栽培の温室効果ガス排出削減事業

重油などの化石燃料の消費削減・温室効果ガスの排出抑制を推進するため、市内の認定農業者の温室効果ガスの排出が少ないヒートポンプの導入を支援します。



事業名称
予算額

- ①脱炭素社会形成推進事業 29,400千円※(1)のみ
- ②ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業 7,513千円

【問合せ】①まちづくり 部まちづくり計画課長 ②市民生活部 経済課長 ☎042-325-0111(内線①452 ②392)

プラスチックの資源化による循環型社会の促進

使い勝手のよいプラスチックは、生活のあらゆるところで使用されています。その一方で、プラスチックが海に流出することで、生態系への悪影響を及ぼす「海洋プラスチック問題」や「気候変動問題」など、地球規模での環境問題を引き起こしています。

そのため、資源プラスチックと製品プラスチックを一括収集・有料化し、プラスチックの発生抑制、ごみの減量・資源化を促進します。

引き続き、更なる循環型社会の形成やゼロカーボンシティの実現、リサイクルの推進に取り組みます。



事業名称
予算額

資源プラスチック指定収集袋作成及び廃棄物処理手数料収納事業 57,161千円

【問合せ】建設環境部 環境対策課長 ☎042-300-5300

庁舎・公共施設の施設管理委託がスタート

～DX活用等による効率的・効果的な維持管理の推進～

①庁舎総合管理委託

新庁舎の安全・快適な機能を維持するため、庁舎総合管理を委託します。

【新庁舎管理部門】応援スタッフの現地派遣・24時間365日対応・業務品質
モニタリング・業務進捗確認・管理報告会同席

②公共施設の包括施設管理委託

「市民への安定した公共サービスの提供」と「公共施設マネジメントの推進」
を達成するため、**予防保全型の維持管理**へ転換します。

【対象業務】点検・清掃・警備・剪定などの定例的な業務、及び日常的に発生
する小規模な修繕(※修繕業務を含めるのは都内初)

★独自の取組★

- i) 定期的な巡回点検で簡易修理(内製化)を実施 ⇒ 不具合の未然防止
- ii) 巡回点検等から得たデータ分析 ⇒ 実情に応じた保全計画の策定
- iii) 市内拠点事務所の設置, 国分寺市包括管理チームの対応
- iv) 24時間365日対応な体制(コールセンター)の整備
- v) DX活用で業務全体を効率化 ⇒ 建物管理情報システムの活用により,
双方向からリアルタイムで管理
情報を共有・蓄積・活用。システム活用による修繕の迅速対応, 効率の向上



事業名称
予算額

- ①庁舎総合管理業務委託事業 999,945千円(令和6年度 111,105千円/令和7～10年度 債務負担行為)
- ②包括施設管理委託事業 1,126,274千円(令和6年度 197,656千円/令和7～10年度 債務負担行為)

【問合せ】①総務部 契約管財課長 ②政策部 公共施設マネジメント課長 ☎042-325-0111(内線①420 ②211)

市民共有の財産となる市史を市民目線で編さん

出張
本多公民館 本多公民館・ふるさと文化財課・市史編さん担当連携 歴史講座

資料編さん事業がもたらすもの

昭和39年(1964)に誕生した国分寺市は、令和6年(2024)市制施行60周年を迎え、新たな国分寺市の編さん事業に着手いたします。私たちが身近な地域の歴史を学ぶうえで、資料編さんとはどのようなことを行うのか、編さんを進めてもたらされるものは何なのか。このことについて、国分寺市が歩んできた様々な過去の歴史を振り返りながら、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。講演者は、講師・前教育委員・市職員、講座の御参加をお待ちしております。トークセッションも行います。

講師 西木浩一氏
地域資料を守る、活かす

3月10日(日曜日) 14時～16時
会場:13時30分

オンライン (国分寺市本町3-1-1 cocobunjWEST5階)
※要予約 国分寺駅北口すぐ
※参加費無料
※公共交通機関をご利用いただく、近隣の有料駐車場・駐輪場までご利用ください。
※本多公民館へ
0085(住所)国分寺市本多1-7-1




市制施行60周年に当たり、「国分寺市」が誕生して以降、昭和、平成の時代を経て令和を迎えた今、多くの先人が暮らしてきた過去の歴史を踏まえ、私たちが置かれている状況を把握し、未来へ向けて歩むべき道標を見据えるため、新たな市史編さん事業を開始します。

「市史編さん基本方針」に基づき、「原始・古代・中世部会」・「近世・近現代部会」・「現代市制部会」の三つの専門部会を設置し、研究者や行政職だけではなく、広く市民と協働して資料収集や調査をスタートするとともに、行政における歴史的公文書等の保存・活用に向けた基盤整備も検討します。

また、事業着手を記念して、著名研究者を招いた歴史講演会を11月以降開催します。

事業名称
予算額

市史編さん事業 24,789千円

【問合せ】教育部 市史編さん担当課長 ☎042-573-4370(内線502)